

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	生涯スポーツ指導者育成事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業 期間	開始年度	S58	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	人材育成事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						
				佐野市スポーツ指導者育成 事業補助金交付要綱					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	生涯スポーツ指導者指導員資格取得費用の一部に対し補助金を交付する。
------	-----------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民一人1スポーツを推進するため、指導者の育成を図る。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		市スポーツ指導者登録数	人	値が大きいほど良い	15	30	40	50	60

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に 行った主な活 動内容)	生涯スポーツ指導者指導員資格取得費用の一部に対し補助。 交付件数 0 件	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		講習会開催件数	回	3	2	0	0
		補助金申請件数	件	4	6	2	0
		事業費計	千円	138	138	30	10
		一般財源	千円	138	138	30	10
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	スポーツ指導者の資質向上及び確保はスポーツの振興に寄与する。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		市スポーツ指導者登録数	人	97	111	110	106	効果が上がった	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が上がった指標数	1指標	1指標		
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標	目標未設定		
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

他事業との連携や、今まで以上の周知が必要である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 指導者確保のためにも、スポーツ指導者育成事業補助金の充実が必要である。
--	---

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	スポーツ協会運営支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課		スポーツ協会運営支援事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	S17	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市スポーツ協会が行うスポーツ普及、振興活動及び運営を支援する。
------	-----------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市スポーツ協会が主催する大会や事業の運営費を補助することにより、各支部や競技団体のスポーツの振興を図り、市民一人1人スポーツの推進と市民の健康や体力の維持、増進及び競技力の向上を図ることを目的とする。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		各支部・専門部の事業数	事業	値が大きいほど良い	80	90	90	100	100

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 交付金関係事務、各種共催事業開催のための事務 (団体の活動) 総会、常任理事会の開催 各競技団体等の指導・育成 主催・主幹事業 19支部、21専門部	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		登録支部数	支部	19	19	19	19
		登録競技団体数	団体	21	21	21	21
		事業費計	千円	7,650	7,650	7,650	7,650
		一般財源	千円	7,650	7,650	7,650	7,650
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	スポーツ協会を支援することは、市民の体位向上並びに各競技団体等の強化に繋がり、スポーツ振興が図られる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		各支部・専門部の事業数	事業	52	54	78	76	効果が上がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が上がった指標数	1指標			
	効果は変わらない指標数	0指標			
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が下がった指標数	0指標	目標達成	達成	
			未達成		
	指標全体	効果が上がった	目標未設定	1指標	
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	スポーツ少年団支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業 期間	開始年度	H19	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	スポーツ少年団本部が行うスポーツ普及、振興活動及び運営を支援する。
------	-----------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ少年団本部を支援することにより、青少年のスポーツ活動の普及と振興を図ることを目的とする。	（3）目標値		↓選択して下さい						後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11					
		登録団員数	人	値が大きいほど良い	550	550	555	555	555					

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 交付金関係事務、各種研修会を支援する。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		登録団体数	団体	26	26	24	24
	(団体の活動) 総会、資格取得講習会 競技別交流大会 体験会	事業費計	千円	1,000	350	400	400
		一般財源	千円	300	350	400	400
		特定財源（国・県・他）	千円	700			
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	加盟団体による体験会も開催しており、団員相互の交流のみならずスポーツするきっかけを創出することは、市民一人1スポーツの推進に繋がる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		登録団員数	人	535	696	505	511	効果が下がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標			
	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	1指標			
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果が下がった	目標達成	達成	
			未達成		1指標
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	目標未設定		

※ 1 0 万円以上の増減により判断

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	スポーツ教室開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	S56	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	イベント等開催事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市スポーツ協会専門部や総合型地域スポーツクラブ等の各種団体に講師を依頼し、スポーツ教室を開催する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ教室を開催し、市民一人1スポーツ・レクリエーションを行うための機会を充実させる。	（3）目標値		↓選択して下さい					
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		スポーツ教室参加者数	人	値が大きいほど良い	480	650	650	700	700

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	1 4 種目 2 0 教室のスポーツ教室を開催した。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		教室数	教室	18	19	20	20
		事業費計	千円	929	1,077	1,209	1,645
		一般財源	千円	289	384	562	757
		特定財源（国・県・他）	千円	640	693	647	888
		（うち受益者負担）	千円	640	693	647	888

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	スポーツを行うきっかけとなり、市民一人1スポーツの推進に繋がっている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		スポーツ教室参加者数	人	557	598	622	600	効果が上がった	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標			
	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標	1指標		
	効果が下がった指標数	0指標			
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果が上がった	達成	未達成	
			目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

スポーツ教室の指導は、スポーツ協会各専門部及び総合型スポーツクラブが担っており、各教室の回数を考慮すると事業費を充実する必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☒ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 参加者負担金の見直し
---	------------------------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	レクリエーション協会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備		佐野市レクリエーション協会 運営費補助金交付要領				
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市レクリエーション協会の活動支援及び運営費を補助する。
------	-------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市レクリエーション協会の運営費を補助し、その活動を支援することにより、レクリエーションの普及・発展と、明るく豊かなまちづくりをめざすことを目的とする。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		週に1回以上運動している割合	%	値が大きいほど良い	50	43.3	45.5	47.8	50.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 交付金関係事務	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		登録団体数	団体	20	15	15	15
	(団体の活動) 総会、役員会の開催 加盟団体の指導・育成 自主事業の実施	事業費計	千円	485	585	585	550
		一般財源	千円	485	585	585	550
		特定財源（国・県・他）	千円				
		(うち受益者負担)	千円				

（3）活動による効果

効果説明	レクリエーションに親しむ機会を提供することは、運動をする習慣を付けるきっかけとなり、市民一人1スポーツの推進に繋がる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		週に1回以上運動している割合	%	39	41	40	42	効果が上がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標			
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	効果は変わらない
	効果が下がった指標数	0指標		1指標	効果が下がった
	指標全体	効果が上がった	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事業なし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	レクリエーション大会開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						
				佐野市レクリエーション大会 運営費交付金交付要領					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市民レクリエーションフェスティバルの開催を支援する。
------	------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民一人ひとりの体力増強と、健康で文化的な生活に資することを目的として大会を開催する。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		週に1回以上運動している割合	%	値が大きいほど良い	50	43.3	45.5	47.8	50.0

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	第2回佐野市民レクリエーションフェスティバル 開催日：令和8年3月8日（日） 会場：佐野市運動公園各施設 他 内容：レク実行委員会加盟団体PR・体験コーナー マスターズスポーツフェスティバル(ターゲットバード・ゴルフ)	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		参加者数	人	1,000	300	600	400
		事業費計	千円	200	200	400	400
		一般財源	千円	200	200	400	400
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明	広く市民各層の参加を得、レクリエーション、体力づくり実践活動を展開し、市民の体力増強と健康で活力に満ちた市民生活の向上に寄与する。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		週に1回以上運動している割合	%	39	41	40	42	効果が上がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標			
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成	効果が上がった
	効果は変わらない指標数	1指標		未達成	効果は変わらない
	効果が下がった指標数	0指標		1指標	効果が下がった
	指標全体	効果が上がった		目標未設定	
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

実施団体の高齢化等

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	ウォークラリー大会開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課		ウォークラリー大会開催支援事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等	事業 期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	ウォークラリー大会交付金 交付要領		開始年度	H4	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	幅広い層の市民が気軽に参加できるウォークラリーコース大会開催を支援する。
------	--------------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	幅広い層の市民が気軽に参加できるウォークラリーコースを設定し、開催することにより、レクリエーションの普及、仲間づくり及び体力づくりを目的とする。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		参加者数	人	値が大きいほど良い	100	150	150	150	150

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	第21回佐野ウォークラリー大会 開催日 令和7年6月1日（日） 会場 国際クリケット場周辺	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		コース数	コース	2	2	2	2
		事業費計	千円	70	70	80	80
		一般財源	千円	70	70	80	80
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	ウォークラリー大会に参加することは、スポーツ・レクリエーションに親しみ、市民一人1スポーツの推進に繋がる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		参加者数	人	253	252	0	110	効果が下がった	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標
	目標未達成だった指標数	0指標
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
	指標全体	効果が下がった
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し

※ 10万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
目標達成	達成			1指標
	未達成			
目標未設定				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

毎年6月の開催だったが、天候が不安定な時期だったため、令和8年度から9月開催を検討している。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	佐野市スポーツ推進委員協議会活動支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H18	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						
				佐野市スポーツ推進委員協議会活動支援事業					
				佐野市スポーツ推進基本計画					
				佐野市スポーツ推進委員規則					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	スポーツ推進委員協議会に交付金を交付し、協議会が自主的に事業を企画運営するための活動資金を支援する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ推進委員が活動するにあたり協議会を設置することにより、その活動が円滑に進められることを目的として支援する。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		スポーツ推進委員	人	値が大きいほど良い	30	35	35	35	35
		協力事業数	回	値が大きいほど良い	7	7	7	7	7

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	総会、定例会の開催 市民ハイキングの実施（自主事業） ニュースポーツの推進（さいかつぼーる） 市主催事業（スポーツ関係）等への協力	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		定例会	回	11	11	11	11
		自主事業数	回	1	1	1	2
		事業費計	千円	650	1,250	1,250	1,250
		一般財源	千円	650	1,250	1,250	1,250
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	月1回の定例会開催により、情報の共有化が図られ、市民一人1スポーツの推進が図られる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		スポーツ推進委員	人	26	25	25	21	効果が下がった	×
		協力事業数	回	1	7	7	10	効果が上がった	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	
	効果が下がった指標数	1指標		目標未設定	1指標
	指標全体	効果は変わらない			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

協力事業等において、委員により参加率が異なることから、積極的な参加を促す必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☒ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☒ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 スポーツ推進委員一人一人の更なる主体的な取組みが必要。
--	---

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	佐野市スポーツ推進委員設置事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市スポーツ推進基本計画 佐野市スポーツ推進委員規則		開始年度	H18	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市民の生涯スポーツ・レクリエーションの普及に寄与するため、スポーツ推進委員を設置する。	
------	---	--

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	市民のスポーツ・レクリエーション活動の推進のため、非常勤特別職としてスポーツ推進委員を委嘱し、スポーツの振興を図る。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		週に1回以上運動している割合	%	値が大きいほど良い	50	43.3	45.5	47.8	50.0

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R7年度に行った主な活動内容）	総会、定例会の開催 市民ハイキングの実施（自主事業） ニュースポーツの推進（さいかつぼーる） 市主催事業（スポーツ関係）等への協力	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		スポーツ推進委員	人	26	25	25	21
		事業費計	千円	426	380	403	532
		一般財源	千円	426	380	403	532
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	月1回の定例会開催により、情報の共有化が図られ、市民一人1スポーツの推進が図られる。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			週に1回以上運動している割合	%	52	54	40	42	効果が下がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 （R7と過去3年平均の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	
	効果が下がった指標数	1指標			1指標
	指標全体	効果が下がった	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

新たなスポーツ推進委員の確保が検討課題である。	
-------------------------	--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	佐野市スポーツ推進審議会運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツツーリズム係				項	5	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	スポーツ基本法 佐野市スポーツ推進審議会 条例及び同条例施行規則	事業期間	開始年度	H16	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	審議会等運営事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市スポーツ推進基本計画の策定をはじめ、スポーツ行政の推進に関する事項を調査審議するスポーツ推進審議会の運営 ※スポーツ推進審議会は15名以内の委員（令和8年度末時点10名）で組織
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ推進審議会にて、スポーツ行政の課題等を審議し、スポーツ推進の取組改善を図る。
-------------------------	--

(3) 目標値

↓選択して下さい

後期計画

効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
審議し改善した取組	%	値が大きいほど良い	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	第1回会議 日時：令和8年8月7日（木） 議事：第4次佐野市スポーツ推進基本計画（案）について 委員出席：8名/10名
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
会議開催	回	1	2	1	1
事業費計	千円	81	138	81	58
一般財源	千円	81	138	81	58
特定財源（国・県・他）	千円				
（うち受益者負担）	千円				

(3) 活動による効果

効果説明	第4次佐野市スポーツ推進基本計画は、個別計画とせず総合計画後期基本計画に包含する方式について国の動向等からその理由を説明するとともに、その内容についても承認を得た。
------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
審議し改善した取組	%		50	50	100	効果が上がった	○

(5) 目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標
	目標未達成だった指標数	0指標
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	効果が上がった
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
目標達成	達成	1指標
	未達成	
	目標未設定	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

審議事項が生じたタイミングで、審議会を開催することができた。今後も、案件に応じ適切に審議会を開催していく。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	佐野市スポーツ賞表彰事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			事業期間	開始年度	H26	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備							
	基本事業	1	生涯スポーツの推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	スポーツ振興に著しく貢献された者に表彰を行う。
------	-------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市スポーツ立市推進計画に基づき、生涯スポーツのみならず、競技力の底上げを図ることを目的とする。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		全国大会出場件数	件	値が大きいほど良い	165	170	170	170	170

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	スポーツ賞 個人 2人 団体 0件 スポーツ特別賞 個人 3人 団体 0件 ジュニアスポーツ賞 小学生 26人 中学生 28人 合計 54人 表彰した。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		スポーツ賞・特別賞授与団体	団体	1	1	0	0
		スポーツ賞・特別賞授与個人	人	9	6	7	5
		ジュニアスポーツ賞授与者	人	84	131	81	54
		事業費計	千円	0	0	295	417
		一般財源	千円			295	417
		特定財源（国・県・他）	千円			0	0
		（うち受益者負担）	千円			0	0

(3) 活動による効果

効果説明	活躍した選手を表彰することは、各選手の励みになると考える。	(4) 事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			全国大会出場件数	件	294	355	156	107	効果が下がった	×

(5) 目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成 (R7と過去3年平均の指標値増減)	目標達成した指標数	0指標	効果 達成 未達成 目標未設定	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が上がった指標数	0指標				
	効果は変わらない指標数	0指標				1指標
	効果が下がった指標数	1指標				
指標全体		効果が下がった				
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

クラブチームで活動する児童生徒が増えているため、学校が把握していない児童生徒の受賞漏れがないような調査方法を検討する必要がある。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☒ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 受賞対象者の調査方法を再検討する。
---	-------------------------------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	全国スポーツ推進委員協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課		全国スポーツ推進委員協議会参画事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	スポーツ基本法		開始年度		実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	全国スポーツ推進委員研究協議会に参加し、他自治体のスポーツ推進委員と情報交換・交流・研修を図る。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市スポーツ推進委員が全国スポーツ推進委員協議会に参画することにより、全国のスポーツ推進委員との情報の共有と交流・研修を図ることを目的としている。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		スポーツ推進委員	人	値が大きいほど良い	30	35	35	35	35

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	全国スポーツ推進委員研究協議会 長野大会 に参加した。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		全国協議会参加者数	人	2	2	2	3
		事業費計	千円	44	45	60	58
		一般財源	千円	44	45	60	58
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明		効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		スポーツ推進委員	人	26	25	25	21	効果が下がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	1指標	目標未設定		
	指標全体	効果が下がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	全国大会等出場者支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課		全国大会等出場者支援事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市全国大会出場祝金交付要領		開始年度	S58	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	現金等給付事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	全国大会規模以上のスポーツ大会に出場する選手、監督等を激励するとともに、祝金を交付する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	全国大会規模以上のスポーツ大会に出場する選手、監督等を激励するとともに、本市のスポーツ振興の推進を図る。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		全国大会出場件数	件	値が大きいほど良い	165	170	170	170	170

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に 行った主な活 動内容)	全国大会等出場祝金交付件数 全国大会 120件 アジア・世界大会 5件	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		祝金交付件数	件	294	310	156	125
		事業費計	千円	3,320	2,870	4,000	10,700
		一般財源	千円	3,320	2,870	4,000	10,700
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	全国レベル以上で活躍する選手を激励するで、さらなる飛躍の動機付けとなり、また、周囲に良い影響を与えることからスポーツ振興に繋がる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		全国大会出場件数	件	294	355	156	125	効果が下がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標
	目標未達成だった指標数	1指標
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
	指標全体	効果が下がった
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した

※ 10万円以上の増減により判断

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

申請漏れがないよう、さらなる制度の周知が必要である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	市民スポーツ大会開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	イベント等開催事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	スポーツ協会 1 9 支部を 1 4 チームに再編し支部対抗戦で各競技を開催する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	「市民一人1スポーツ」の推進と、スポーツを通じて健康維持・増進を図る。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		週に1回以上運動している割合	%	値が大きいほど良い	50	43.3	45.5	47.8	50.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	総合競技、球技等に区分し、野球、バレーボール等18種目で市民スポーツ大会を開催した。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		競技種目数	種目	0	16	18	18
		事業費計	千円	617	1,886	2,007	2,759
		一般財源	千円	617	663		
		特定財源（国・県・他）	千円		1,223	2,007	2,759
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	支部単位による編制となっていることから、市民間の交流が図られると共に市民一人1スポーツの推進に繋がる。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			週に1回以上運動している割合	%	39	41	40	42	効果が上がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果	効果	
	目標未達成だった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない
	効果が上がった指標数	1指標		効果が下がった	
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果が上がった	目標達成	達成	
			未達成	1指標	
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用が増加した		目標未設定		

※ 1 0 万円以上の増減により判断

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

単独支部での参加が難しいなどの意見がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	市民駅伝競走大会開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						
				佐野市レクリエーション大会 運営費交付金交付要領					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	スポーツ協会各支部対抗（19支部を14支部に再編）による市民駅伝大会開催を支援する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ協会各支部の小学生から壮年まで幅広い年齢層で結成されたチームで競う駅伝競走大会を実施し、地域の親睦を深め、絆を強めるとともに明るく住みよい地域社会づくりに目的とする。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		週に1回以上運動している割合	%	値が大きいほど良い	50	43.3	45.5	47.8	50.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	第21回佐野市民駅伝競走大会 開催日：令和7年11月9日（日） コース：清酒開華スタジアム及び運動公園敷地内特設コース 10.2km 区間：6区間 開催基準を満たしていたため、当初の予定通り、大会を実施した。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		参加チーム数	チーム	—	8	8	8
		事業費計	千円	500	500	100	250
		一般財源	千円	500	500	100	250
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	支部によるチーム編成は、地域の親睦を深めると共にスポーツ振興に繋がった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		参加チーム数	チーム	4	8	8	8	効果が上がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	0指標		目標未設定	
	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

各チームにおける選手の確保が難しい状況に変わりはなく、継続して、各支部の負担軽減に取り組み、参加チーム数の拡大につなげていきたい。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 大会要項やコース等を検討する必要がある。
---	----------------------------------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	栃木県スポーツ推進委員協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H18	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備		スポーツ基本法				
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	栃木県スポーツ推進委員協議会に参加し、他自治体のスポーツ推進委員と情報交換・交流・研修を図る。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市スポーツ推進委員が栃木県スポーツ推進委員協議会に参加することにより、県内のスポーツ推進委員との情報の共有と交流・研修を図ることを目的としている。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		スポーツ推進委員	人	値が大きいほど良い	30	35	35	35	35

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	栃木県スポーツ推進委員協議会 に参画した。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		県協議会参加数	回	5	8	8	11
		事業費計	千円	52	50	50	532
		一般財源	千円	52	50	50	532
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明	県内のスポーツ推進委員と交流・意見交換をすることは、推進委員の事業展開を図る上で優良である。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		スポーツ推進委員	人	26	25	25	21	効果が下がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	1指標		目標未設定	
	指標全体	効果が下がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	町会運動会開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課				町会運動会開催支援事業	款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				目	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市町会運動会 開催奨励金交付要綱		開始年度	H17	実施方法	直営	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備							
	基本事業	1	生涯スポーツの推進							

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	町会が開催する運動会に対し、奨励金を交付する。
------	-------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	町会が開催する運動会に対し、奨励金を交付することにより、市民一人 1 スポーツの推進を図り、もって市民の健康維持・増進と、明るいまちづくりに寄与することを目的とする。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		週に 1 回以上運動している割合	%	値が大きいほど良い	50	43.3	45.5	47.8	50.0

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	3 5 町会に対して奨励金を交付を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		奨励金交付町会数	町会	6	27	36	35
		事業費計	千円	110	300	500	550
		一般財源	千円	110	300	500	550
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	スポーツ協会を支援することは、市民の体位向上並びに各競技団体等の強化に繋がり、スポーツ振興が図られる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		週に1回以上運動している割合	%	52	54	40	42	効果が下がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	1指標		目標未設定	
	指標全体	効果が下がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☒ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 未実施の町会に対する検討が必要。
---	------------------------------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	県南五市対抗親善総合競技大会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			事業期間	開始年度	S24	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備							
	基本事業	1	生涯スポーツの推進							

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	県南五市対抗親善総合競技大会に参画する。
------	----------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	小山市、真岡市、栃木市、足利市、佐野市の5市及び教育委員会、スポーツ協会の主催による親善を目的として総合競技大会を開催する。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		本市参加者数	人	値が大きいほど良い	200	220	220	220	220

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	第79回県南五市対抗親善総合競技大会 開催日 令和7年6月29日（日）、7月6日（日） 会場 小山市及び栃木市内スポーツ施設 競技種目 野球、バスケットボール等 11種目11競技	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		競技種目	種目	16	17	15	11
		事業費計	千円	403	644	455	801
		一般財源	千円	403	561	455	801
		特定財源（国・県・他）	千円		83		
		（うち受益者負担）	千円		83		

（3）活動による効果

効果説明	多種目で行われる大会であり、市民一人1スポーツの推進に繋がる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		本市参加者数	人	217	322	280	191	効果が下がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	1指標		目標未設定	
	指標全体	効果が下がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

同時期に他大会も開催されるなど、各競技団体による選手選考が課題となっている。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	県南四市対抗親善スキー大会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			事業 期間	開始年度	S.33	実施方法
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度			事業分類	参画事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	県南四市対抗親善スキー大会に参画する。
------	---------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	足利市、小山市、栃木市、佐野市の4市及び教育委員会、スポーツ協会主催による親善を目的としてスキー大会に参画する。	（3）目標値		↓選択して下さい		後期計画			
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		本市参加者数	人	値が大きいほど良い	24	24	24	24	24

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	第73回県南四市対抗親善スキー大会 開催日 令和8年2月16日（月） 会場 エーデルワイススキーリゾート 種目 大回転2本	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		大会参加者数	人	-	72	70	67
		事業費計	千円	0	78	90	159
		一般財源	千円	0	78	90	159
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	県南四市の親善及び市民一人1スポーツの推進が図られる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		本市参加者数	人	-	21	15	15	効果が下がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標			
	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標	達成	未達成	1指標
	効果が下がった指標数	1指標	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

例年の県南四市スキーでは日曜日開催であったが、令和7年度は平日開催となったため、参加者が減ってしまった。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	県民スポーツ大会開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			事業期間	開始年度	S59	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				終了年度		事業分類	イベント等開催事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備							
	基本事業	1	生涯スポーツの推進							

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	県民スポーツ大会に参画する。
------	----------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	「県民ひとり1スポーツの推進」をスローガンとして、広く県民の間にスポーツを振興し、生涯にわたり健康や体力の保持増進を図るとともに、連帯感あふれた地域づくりに寄与する。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		本市代表選手数	人	値が大きいほど良い	336	336	336	336	336

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	栃木県民スポーツ大会 開催日 令和7年10月19日（日）、10月26日（日） 会場 栃木県総合運動公園 他 種目 対抗競技 陸上競技、軟式野球等 1 7 競技 オープン競技 ラグビー 5競技	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		開催競技数	競技	0	24	23	23
		事業費計	千円	0	197	379	379
		一般財源	千円		197	379	379
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明	多種目で行われる大会であり、市民一人1スポーツの推進に繋がる。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			本市代表選手数	人	0	229	226	230	効果が上がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	目標未達成だった指標数	1指標				
	効果が上がった指標数	1指標				
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果が上がった	目標達成	達成	未達成	1指標
			目標未設定			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断				

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	関東スポーツ推進委員研究会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H18	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						
				関東スポ→推進委員研究会参画事業					
				スポーツ基本法					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	関東スポーツ推進委員研究会に参加し、他自治体のスポーツ推進委員と情報交換・交流・研修を図る。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市スポーツ推進委員が関東スポーツ推進委員協議会に参画することにより、関東のスポーツ推進委員との情報の共有と交流・研修を図ることを目的としている。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		スポーツ推進委員	人	値が大きいほど良い	30	35	35	35	35

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	関東スポーツ推進委員研究大会 山梨大会 に参加した。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		関東協議会参加者数	人	0	6	8	6
		事業費計	千円	0	24	24	59
		一般財源	千円		24	24	59
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	関東地方のスポーツ推進委員と交流・意見交換をすることは、推進委員の事業展開を図る上で優良である。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		スポーツ推進委員	人	26	25	25	21	効果が下がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	1指標		目標未設定	
	指標全体	効果が下がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	スポーツ指導者活用事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2222	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	R4～	実施方法	一部委託
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	人材育成事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	2	競技スポーツの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	競技・生涯スポーツ振興のため、スポーツ指導者の登録制度を構築し、主に中学校部活動地域移行団体（地域クラブ）の要請に応じて指導者を紹介する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	競技・生涯スポーツ振興のため、スポーツ指導者の登録制度を構築し、地域スポーツ団体の要請に応じて指導者を紹介する。併せて中学校部活動についても指導者を紹介する。	（3）目標値		↓選択して下さい	後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		市スポーツ指導者登録数	人	値が大きいほど良い	15	30	40	50	60

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に 行った主な活 動内容)	部活動地域移行に関する情報収集を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		講師派遣回数	回	0	0	0	0
		事業費計	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円				
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	部活動地域移行との連携を図る必要がある。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		市スポーツ指導者登録数	人	97	111	110	106	効果は変わらない	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標			
	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標	達成	1指標	
	効果が下がった指標数	0指標	未達成		
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果は変わらない	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

部活動地域移行との連携を図る必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 部活動地域移行の状況を見ながら事業の方向性を修正する必要がある。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	競技スポーツ強化事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	会計科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2222	名称	事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		開始年度	H28	実施方法	一部委託
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					
	基本事業	2	競技スポーツの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	児童・生徒を対象に競技力向上が図れる講習会・練習会を実施する。
------	---------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	各競技スポーツの競技力向上を図り、本市スポーツ振興の更なる発展に寄与するため、各競技の競技力向上を図る。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		全国大会出場件数	件	値が大きいほど良い	165	170	170	170	170

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	○SAQトレーニング講習会 中学生を対象にS A Q（スピード（速さ）、アジリティ（敏捷性）、クイックネス（俊敏性））トレーニングを実施した。 実施校：佐高附属中学校、佐野西中学校、あそ野学園義務教育学校、城東中学校 参加者：1 5 0 名 ○バスケットボール講習会 市内小学生～高校生までバスケットボール関係者を対象に、佐野市バスケットボール協会と共催で講習会を実施した。 参加者：6 0 名	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		講習会開催数	回	6	3	4	4
		事業費計	千円	199	72	300	440
		一般財源	千円	199	72	300	440
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	基礎能力の向上のため、中学生を対象にS A Qトレーニングを実施することは、競技力向上に効果があると考える。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		全国大会出場件数	件	294	355	156	125	効果が下がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成 (R7と過去3年平均の指標値増減)	目標達成した指標数	0指標	効果	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が上がった指標数	0指標		達成		
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成		1指標
	効果が下がった指標数	1指標		目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

競技別講習会において、各年1種目ずつ開催していくと、全種目開催するために多くの時間を要するため、複数種目開催できるよう関係団体と調整する必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☒ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 競技別講習会において、各年1種目ずつ開催していくと、全種目開催するために多くの時間を要するため、複数種目開催できるよう関係団体と調整する必要がある。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	アリーナためま等指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課		学校開放事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2223	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市学校等施設開放規則		開始年度	H20	実施方法	指定管理者
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・平成20年からアリーナためま、葛生武道館、中運動公園、葛生農業者トレーニングセンターの4施設を平成22年度から田沼グリーンスポーツセンター、田沼総合運動場、田沼西運動場の3施設を指定管理者により管理していたが、平成28年度より併せて7施設を指定管理者により一括管理としている。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。 ・市民ニーズに対応したサービスの提供	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		指定管理施設利用者数	人	値が大きいほど良い	185,000	185,000	185,000	185,000	185,000
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	値が大きいほど良い	41	41	41	41	41

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・指定管理者：NPO法人日本スポーツ振興協会 (令和4年度から令和8年度（5年間）) ・施設の修繕 ・指定管理業務の監視 ・指定管理者への指導、助言	（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
			指定管理施設数	施設	7	7	7	7
			修繕件数	件	11	15	11	19
			事業費計	千円	0	74,409	75,624	79,749
			一般財源	千円		74,409	72,639	77,250
			特定財源（国・県・他）	千円			2,985	2,499
			（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			指定管理施設利用者数	人	122,634	181,417	182,639	## ## ##	効果が上がった	×
			安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	41	41	41	41	効果は変わらない	○

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	1指標
	効果は変わらない指標数	1指標		未達成	
	効果が下がった指標数	0指標		目標未設定	
	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

いずれの施設も開設から年数が経ち、施設の改修や設備の更新が必要となっている。 施設利用に支障が無いように、効率的な施設管理、修繕等を実施していく必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 施設利用に支障が無いよう、施設の管理、修繕等を実施する。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	学校開放事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課		学校開放事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2223	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市学校等施設開放規則		開始年度		実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・市立小中学校及び義務教育学校の施設（体育館 2 7 施設、校庭 1 8 施設、武道場 3 施設）及び若宮球場の夜間開放に係る運営と校庭の夜間照明施設の維持管理を行う事業。
------	--

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	・市民が身近な学校施設を活用し、各施設を不都合なく安全に利用できる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		年間延べ利用日数	日	値が大きいほど良い	5400	5400	5400	5400	5400

（3）目標値

↓選択して下さい

後期計画

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R7年度に行った主な活動内容）	・維持管理：校庭の夜間照明施設の修繕、電気料の支払い。 ・運営：運営委員会から提出された登録申請書の管理を行う。各学校からの行事予定報告を日程表に記載し、各運営委員会へ送付する。（運営委員会は各団体の施設利用日程を調整し、日程表を作成し提出。）提出された日程表を各学校、管理人へ送付する。利用後は、各管理人から実績の報告があり、報告に基づき報酬の支払いをする。その他問い合わせ等の対応をする。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		年間延べ利用日数	日	2,312	5,337	5,402	5,528
		年間修繕件数	件	2	6	8	2
		事業費計	千円	4,808	5,749	6,508	4,743
		一般財源	千円	4,808	5,549	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円		200	6,508	4,743
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	・市民が身近な学校施設を活用することにより、市民一人 1 スポーツを推進する。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		年間延べ利用日数	日	2,312	5,337	5,402	5,528	効果が上がった	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 （R7と過去3年平均の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	1指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	未達成		
	効果が下がった指標数	0指標	目標未設定		
	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市内小学校と中学校の統廃合が行われ、義務教育学校が開校されることにより、使用できる施設数の減少が今後見込まれている。 このことから、1 施設ごとの利用率の維持及び向上の取り組みが必要となる。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☒ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☒ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 体育館の改修工事や義務教育学校への統合等が今後予定されていることから、利用者への周知を行うなど対応する。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	学校開放体育施設運営委員会活動事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課		学校開放事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2223	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市学校等施設開放規則		開始年度		実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・学校開放事業において、学校の夜間開放に係る日程調整などの運営に対して運営委員会を組織し、市民が円滑にスポーツを行うことができるようにする。 ・運営委員会は、佐野市スポーツ協会の支部ごとに設置され、区域内の夜間開放施設の日程調整、管理人の選定を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・屋内、屋外の学校体育施設を利用する団体の日程調整を図り、円滑に利用できるようにする。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		運営委員会数	団体	値が大きいほど良い	16	16	16	16	16
		学校開放利用登録者数	人	値が大きいほど良い	3500	3500	3500	3500	3500

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 各支部の運営委員会に交付金の支出	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		運営委員会数	団体	16	16	16	16
		運営委員会の開催回数	回	12	12	12	12
	(運営委員会の活動) 毎月の夜間開放施設の日程を調整し、市に報告。管理人選定。						
		事業費計	千円	277	277	277	277
		一般財源	千円	277	277	277	277
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		運営委員会数	団体	16	16	16	16	効果は変わらない	○
		学校開放利用登録者数	人	3,943	3,439	3,531	3,473	効果が下がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成	1指標
	効果は変わらない指標数	1指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	1指標		目標未設定	
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果が下がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市内小学校と中学校の統廃合が行われ、義務教育学校が開校されることにより、使用できる施設数の減少が今後見込まれている。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 体育館の改修工事や義務教育学校への統合等が今後予定されていることから、利用者への周知を行うなど対応する。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	栃木県体育施設協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2223	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			事業期間	開始年度	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				終了年度	事業分類	参画事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・栃木県体育施設協会へ参画し、協議会主催の会議や研修に参加することにより、体育施設に関する情報収集や意見交換を行っている。 ・栃木県体育施設協会とは、県内の体育施設の適切な運営管理について協議し、体育の振興に寄与することを目的として、県内市町の自治体や体育施設を管理する事業者等を会員として構成している団体である。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・県内各地の体育施設管理者（協会会員）と情報交換することにより、佐野市内の体育施設の維持管理の向上が図れる。	(3) 目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	値が大きいほど良い	41	41	41	41	41

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 栃木県体育施設協会に負担金の支出、年2回の会議の参加を行う。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		会議への出席回数	回	2	1	1	1
	(栃木県体育施設協会の活動) 年2回の会議、全国会議・研修会2回の参加、関東会議・研修会2回の参加、その他研修会の開催、会員市等への情報提供・交換を行う。	事業費計	千円	4	4	4	4
		一般財源	千円	4	4	4	4
		特定財源（国・県・他）	千円				
		(うち受益者負担)	千円				

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	41	41	41	41	効果は変わらない	○

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

(5) 目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成	1指標
	効果は変わらない指標数	1指標		未達成	
	効果が下がった指標数	0指標		目標未設定	
	指標全体	効果は変わらない			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	渡良瀬川ふれあいスポーツ広場維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業	
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2223	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			事業期間	開始年度	H20	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備							
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営							

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・市民がスポーツ・レクリエーションを楽しめる場所を確保するため、渡良瀬川河川敷の一部を占用許可を受け、ふれあいスポーツ広場として市民に開放し、快適な利用ができるよう広場の維持管理をする。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		利用者数	人	値が大きいほど良い	5500	5500	5500	5500	5500
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	値が大きいほど良い	41	41	41	41	41

（3）目標値

↓選択して下さい

後期計画

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・市民がスポーツ・レクリエーションを楽しめる場所を確保するため、渡良瀬川河川敷の一部の占用許可を受け、ふれあいスポーツ広場として市民に開放し、快適な利用ができるよう広場の維持管理をする。 ・河川占用許可の更新。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		管理委託件数	件	0	0	0	0
		事業費計	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円				
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		利用者数	人	5,014	4,601	4,367	4,467	効果が下がった	×
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	41	41	41	41	効果は変わらない	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	目標未達成だった指標数	1指標				
	効果が上がった指標数	0指標		1指標		
	効果は変わらない指標数	1指標			1指標	
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が下がった指標数	1指標	目標達成 達成 未達成 目標未設定			
	指標全体	効果が下がった				
	費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し				

※ 1 0 万円以上の増減により判断

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	渡良瀬川緑地運動施設維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係							
政策体系	体系コード	2223	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H15	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・渡良瀬川緑地にある野球場 1 面、ソフトボール場 4 面、運動広場 2 面の維持管理。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		利用者数	人	値が大きいほど良い	14000	14000	14000	14000	14000
		安全に利用できる市有スポーツ施設数	施設	値が大きいほど良い	41	41	41	41	41

（3）目標値

↓選択して下さい

後期計画

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・野球場 1 面、ソフトボール場 4 面、運動広場 2 面の維持管理。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		利用者数	人	13,609	13,519	16,472	15,768
		事業費計	千円	2,468	3,121	3,478	2,018
		一般財源	千円	2,468	3,121	3,478	2,018
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		利用者数	人	13,609	13,519	16,472	15,768	効果が上がった	○
		安全に利用できる市有スポーツ施設数	施設	41	41	41	41	効果は変わらない	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	2指標				効果		
	目標未達成だった指標数	0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	1指標	1指標		
	効果は変わらない指標数	1指標		未達成				
	効果が下がった指標数	0指標		目標未設定				
		指標全体	効果が上がった					
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断					

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	秋山川グランドゴルフ場維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業	
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2223	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			事業 期間	開始年度	H20	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備							
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営							

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・グランドゴルフ場及びトイレの維持管理
------	---------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		市有スポーツ施設の利用人数	人	値が大きいほど良い	47000	47000	47000	47000	47000

（3）目標値

↓選択して下さい

後期計画

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・グランドゴルフ場及びトイレの維持管理 (河川災害復旧工事のため、R5はグラウンド利用中止)	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		修繕件数	件	0	0	0	0
		除草、剪定	回	4	0	0	1
		事業費計	千円	574	117	121	615
		一般財源	千円	574	117	121	615
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		市有スポーツ施設の利用人数	人	355,475	462,351	426,296	472,831	効果が上がった	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	
	効果が下がった指標数	0指標		目標未設定	
	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	運動公園等指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課		学校開放事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2223	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	H20	実施方法	指定管理者
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・運動公園、栄公園、佐野武道館の3施設を指定管理者により維持管理を行い、市民サービスの向上と経費の削減を図る。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		指定管理施設利用者数	人	値が大きいほど良い	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	値が大きいほど良い	41	41	41	41	41
		市有スポーツ施設の利用者数	人	値が大きいほど良い	470,000	470,000	470,000	470,000	470,000

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・指定管理者：シンコースポーツ株式会社 令和6年4月1日～令和9年3月31日 ・施設の修繕（1件30万円以上） ・指定管理業務のモニタリング ・指定管理者への指導、助言	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		指定管理施設数	施設	3	3	3	3
		修繕件数	件	19	31	30	32
		事業費計	千円	123,969	101,460	142,509	143,015
		一般財源	千円	123,969	95,462	137,745	135,792
		特定財源（国・県・他）	千円		5,998	4,764	7,223
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		指定管理施設利用者数	人	170,679	205,208	205,095	198,297	効果が上がった	×
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	41	41	41	41	効果は変わらない	○
		市有スポーツ施設の利用者数	人	355,475	462,351	426,296	472,831	効果が上がった	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	2指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	目標達成	達成	1指標
	効果は変わらない指標数	1指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	0指標	目標未設定		
	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

いずれの施設も開設から年数が経ち、施設の改修や設備の更新が必要となっている。 施設利用に支障が無いように、効率的な施設管理、修繕等を実施していく必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 市民サービスの向上及び安全・安心な施設維持管理が図られるよう、随時、適切なモニタリングを行う。
---	---

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	陸上競技場運営委員会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課		陸上競技場運営委員会支援事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2223	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市都市公園条例		開始年度	H2	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・陸上競技場運営委員会に交付金を交付している。年1回の総会出席、随時意見交換を行っている。 ・陸上競技場運営委員会とは運動公園陸上競技場（第2種公認）の利用開始に伴い、施設の有効利用及び効果的利用を図るため具体策の研究協議や円滑で適正な競技場運営ができる活動をし、陸上競技場で開催される陸上競技大会に対し協力を行っている。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・陸上競技場施設・設備の充実及び有効利用に関する研究・提言をしてもらう。 ・公認審判員の養成や競技場の開催及び運営に携わってもらう。 ・各種陸上競技会の大会運営などに協力してもらう。
-------------------------	--

（3）目標値

↓選択して下さい

後期計画

効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
利用・運営の提言数	回	値が大きいほど良い	1	1	1	1	1

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 陸上競技場運営委員会に交付金を支出、年1回の総会、随時意見の交換を行っている。 (陸上競技場運営委員会の活動) 施設の有効利用を図るため具体策の研究協議や円滑で適正な協議を行う。
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
運営委員会の会議・研究回数	回	3	3	3	3
運営委員会の大会協力回数	回	8	8	8	8
事業費計	千円	50	50	50	50
一般財源	千円	50	50	50	50
特定財源（国・県・他）	千円				
(うち受益者負担)	千円				

（3）活動による効果

効果説明	・陸上競技場施設・設備の充実及び有効利用に関する研究・提言をしてもらう。
------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
利用・運営の提言数	回	1	1	1	1	効果は変わらない	○

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標
	目標未達成だった指標数	0指標
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	1指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	効果は変わらない
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
目標達成	達成	1指標
	未達成	
目標未設定		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	スポーツ医科学センター実証事業→運動習慣応援プロジェクト実証事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	1-②	市長公約②	V－③	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり		コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	総合政策部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	政策調整課				款	2	新規or継続	新規事業
	係	政策調整係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	2223	名称	根拠法令、条例等		目	7	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			事業開始年度	R7	実施方法	一部委託
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			事業終了年度	R9	事業分類	その他市民に対する事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	自分の体の状態の見える化により、運動習慣の定着を図り、健康づくりに寄与する仕組みづくりの実証事業
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	自分の体の状態の見える化により、運動習慣の定着を図り、健康づくりに寄与する仕組みづくりの実証事業を行い、市民の健康寿命の延伸につなげる。	（3）目標値		↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11	
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	値が大きいほど良い	76.5	78.0	79.0	80.0	81.0	
		週に1回以上スポーツ・アクティビティに楽しんでいる市民の割合	%	値が大きいほど良い	50.0	43.3	45.5	47.8	50.0	

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	8月（仮称）スポーツ医科学センター検討協議会を設置 委員10人を委嘱 第1回検討協議会開催 10月 第2回検討協議会開催 12月～ 実証事業開始 3月 委員謝金支払準備	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		実証事業申込者数	人	-	-	-	211
		事業費計	千円	0	0	0	45
		一般財源	千円				45
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	・市民の健康増進に寄与する。 ・自分の体の状態の見える化により、運動習慣の定着を図り、健康づくりに寄与する仕組みについての検証	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	71.3	効果が下がった	×
		週に1回以上スポーツ・アクティビティに楽しんでいる市民の割合	%	39.2	41.4	40.2	41.9	効果が上がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	1指標		目標未設定	
	指標全体	効果は変わらない			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

実証事業の参加者の推移やニーズを踏まえ、公共施設における測定会場の設置など、実証事業の拡大に向けた取組が必要である。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☒ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 実証事業の参加者の推移やニーズを踏まえ、公共施設における測定会場の設置など、実証事業の拡大に向けて、業務委託などにより、取り組んでいく。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	スポーツ医科学センター整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	1-②	市長公約②	V-③	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり		コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	総合政策部		予算中事業名	予算科目	会計	一般会計	事業計画	期間限定複数年度
	課	政策調整課				款	2	新規or継続	継続事業
	係	政策調整係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	2223	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	7	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	令和6年度	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度	令和7年度	事業分類	施設等整備事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	スポーツ医科学センターを整備し、データに基づき、市民一人ひとりに合った運動を促すことにより、市民の健康維持・改善に寄与する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し 遂げたい 状態)	スポーツ医科学センターを整備し、データに基づき、市民一人ひとりに合った運動を促すことにより、市民の健康維持・改善に寄与する。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	値が大きいほど良い	76.5	78.0	79.0	80.0	81.0
		週に1回以上スポーツ・レクリエーションに参入している市民の割合	%	値が大きいほど良い	50.0	43.3	45.5	47.8	50.0

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	なし ※R7年度については、実証事業の実施を優先し、実証事業で得られた結果を基に、改めて整備について検討する。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		整備した施設数					0.0
		整備した器具類等					0.0
		事業費計	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円				
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	なし	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	71.3	効果が下がった	×
		週に1回以上スポーツ・レクリエーションに参入している市民の割合	%	39.2	41.4	40.2	41.9	効果が上がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	1指標		目標未設定	
	指標全体	効果は変わらない			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和7年度より開始した運動習慣応援プロジェクト実証事業に優先し取り組み、実証事業の実証結果を踏まえて、改めて整備の方向性を定めていく必要があるため、令和8年度は整備事業は実施しない。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
令和7年度より開始した運動習慣応援プロジェクト実証事業に優先し取り組み、実証事業の実証結果を踏まえて、改めて整備の方向性を定めていく必要があるため、令和8年度は整備事業は実施しない。	